

近代仏教学の祖

# 南條文雄著作選集

全10巻

監修・編集

大谷大学 名誉教授 佐々木 教 悟

大谷大学 名誉教授 長 崎 法 潤

大谷大学 教 授 木 村 宣 彰

大谷大学 名誉教授

長 崎 法 潤

推薦の  
ことば

大谷大学 学長

小 川 一 乗

刊行の  
ことば

大谷大学 名誉教授

長 崎 法 潤

この度、「南條文雄著作選集」(全十巻)が刊行されることになりましたが、待望されつつもなかなか実現されなかつた事業であり、また、時期に合った刊行ではないかと歓迎する次第です。本来ならばもっと早い時期に先生の業績が纏められて然るべきであったと、大谷大学において、仏教研究の末席を汚してある一人として身をおいて痛感している次第です。この選集刊行の現在の意義については、先ず、明治時代の文明開化の中で、日本の仏教界に近代仏教学(比較文献学を主とする近代学的仏教研究)を最初に導入し、現在の日本における仏教研究の盛況をもたらずその第一歩を、輝かしい業績を以て印し、日本における最初の文学博士号の一人に加えられた、その先生の業績とは如何なるものであり、また、先生とはどのような方であったかを、私たち仏教研究に携わっている者は知っておかなければならない歴史的责任があるからです。

次に、日本の仏教界において「仏教学は盛んであるが、仏教は生きていない」と言われるような状況を作りだしている現状に対して、近代仏教学が中心となつていよう界において、先生が自ら「批判しつづつ、「仏教をいかに学ぶか」が問われているとき、先生によつてもたらされた「仏教を生き返らすための近代仏教学」という初志を、今こそ確認しなければならぬ時であると言えます。先生の年譜を管見しますと、七歳にして浄土三部経の素読を教授され、習字を習い、四書五経の句読を教授され、十六歳になつて法談の練習が始まり、十七歳のときから宗学を修め、二十二歳のとき仏祖統紀を読み、「為法不為身」の句に感じ、これが先生の生涯を通しての座右の一句となつたとあります。このような年少の頃からの素養と近代仏教学が一体となつて先生にとつて仏教研究とは何であつたのかを、この選集によつて窺い、それを学ばせて頂かなければならないと思ひます。

南條文雄博士は、日本における近代仏教学の祖である。博士は、明治九年にイギリスに留学して、マックス・ミユラー教授のもとで仏典の文献学的研究という新しい学問の方法を学んだ。そして、南條目録といわれる漢訳大蔵経の英文目録、サンスクリット仏典の校訂出版など、輝かしい成果を発表している。博士の学問研究の方法が礎となつて、日本の仏教研究は飛躍的な進展をなした。この方法は、現在でも仏教研究の主流になつていふ。

南條博士は、しかし、単なる文献学者ではなく、仏教研究における文献学の限界をも熟知しておられたと思われ。博士は、「為法不為身」(大法のために全力をつくすのであつて、わが身のためではない)という法語をモットーとし、その精神をもつて仏教研究にささげた仏者でもあつた。博士は、仏教研究の啓蒙のために尽くし、多くの講話、数々の著書をおとして、人々に仏教の真理を伝えるために生涯をささげた仏者であつた。

南條博士には多数の著作があるが、現在、そのほとんどは絶版となり、入手は不可能である。このたびの「南條文雄著作選集」(全十巻)には、南條目録、校訂出版、英文著作を除いて、博士の代表的な学問成果、講話、随想、自伝など、主要な著作がほとんど含まれている。さらに、本選集の第十巻には、イギリス留学で苦楽をともにしながら、途中で病にたおれた学友・笠原研寿師の遺文も収められている。南條博士のサンスクリット研究は、笠原研寿師の存在なしには語れないからである。

近年、仏教研究における文献学的方法の問題点について、いろいろ語られていふ。現在なされていふ仏教研究は、はたして、混迷を深める世に光をあたえることができるであろうか。二十一世紀には、仏教がもつと重要な役割をはたす時代になることは確かである。

本選集の刊行が、仏者としての南條文雄博士の心に触れる好機になれば、何よりの幸である。

～先駆的な研究より  
新たに学ぶものがある～



(本写真はイメージ写真ですので、実物とは若干異なります。)



# 南條文雄著作選集（全十巻構成）

## 学問研究

### 第一巻

三六五頁 価格 八、八〇〇円（税込）

『佛説無量寿経梵文和訳支那五訳対照』  
『佛説阿彌陀経梵文和訳支那二訳対照』

### 第二巻

八三二頁 価格 一四、六〇〇円（税込）

『梵文妙法蓮華経和訳』  
『邦訳梵文入楞伽経』

『佛教通俗講義・梵文阿彌陀経』

## 講話・随想

### 第三巻

七二四頁 価格 一三、五〇〇円（税込）

『歎異鈔講話』  
『佛教より観たる人の一生』



『仏教を生き返らすための近代仏教学』

### 第四巻

六〇六頁 価格 一二、〇〇〇円（税込）

『修養録』 『感想録』 『人道』 『忘己録』

### 第五巻

八四一頁 価格 一四、六〇〇円（税込）

『静思録』 『安心録』 『同情の力』

### 第六巻

六五〇頁 価格 一二、五〇〇円（税込）

『向上論』

### 第七巻

六六八頁 価格 一二、五〇〇円（税込）

『心の安住・菩提心を求むる道』  
『信念の発揮』

## 自伝

### 第八巻

五八四頁 価格 一一、五〇〇円（税込）

『懐旧録』 『南條文雄自叙伝』

## 論文・雑誌論文・詩集

### 第九巻

五七〇頁 価格 一五、〇〇〇円（税込）

『慰安と修養』 『雑誌論文』

『碩果詩草』

## 南條・笠原

### 第十巻

六九九頁 価格 一三、〇〇〇円（税込）

『南條先生遺芳』 『笠原遺文集』

本著作集は予約出版です。予約お申し込みの方にのみお頒ちいたします。

## 本書の特色

◆本書は、『学問研究』『講話・随想』『自伝』『論文・雑誌論文・詩集』『南條文雄と笠原研寿』に分類し、著者生涯の研究成果と代表作を選集した。

◆本書は、各巻に著者の学統に連なる当代の権威による『月報』を付し、著者の学問的世界を解明し、その現代的意義を明らかにした。

## 『月報』執筆者

- 小川一乗（大谷大学学長）
- 前田惠學（文化功労者）
- 藤田宏達（札幌大谷短期大学学長）
- 前田專學（東京大学名誉教授）
- 佐々木教悟（大谷大学名誉教授）
- 長崎法潤（大谷大学名誉教授）
- 木村宣彰（大谷大学教授）
- その他

◆本書は、正字旧かなとし、発表当時の雰囲気そのまま伝えるように工夫した。  
◆本書は、今日では入手不能な絶版本・雑誌論文を収録した。

## 仕様

- ◆ A5判、上製本、貼箱入
- ◆ 総頁約六、六〇〇頁、各巻平均六六〇頁
- ◆ 隔月刊行・十回配本
- ◆ 各巻「月報」付
- ◆ 分売不可 ◆送料当社負担

予約締切日 平成十三年四月末日

刊行予定日 平成十三年五月二十日（第一回配本 第一巻）

## ご予約方法

「申込ハガキ」に必要事項を  
ご記入の上、ご投函下さい。  
（切手不要）

発売 佛教学図書出版

うしお書店

〒949-4352 新潟県三島郡出雲崎町大門一六四一七

TEL 〇二五八(七八)二一五五  
FAX 〇二五八(七八)四二四三